



今月新しく入りました。

※8月の新刊は、1日（木）からの貸出となります。

一般の本

- ・女と男の絶妙な話。（作＝伊集院 静）
- ・決定版 冠婚葬祭入門（作＝一条真也）
- ・見物記 道草篇（作＝いとうせいこう）

子どもの本

- ・さんびきのおさる（作＝あべけんじ）
- ・ドッグマン（作＝デイブ・ピルキー）
- ・はたけのごちそうなーんだ？ くだもの（作＝すずきもも）

中でもこの本がオススメです。



アンサーゲーム

作＝五十嵐貴久

大手商社に勤務している樋口毅と田崎里美は結婚を終え、幸せの中、眠りに就く。しかし翌朝目を覚ますと、そこは真四角の“箱”の中。そこに、ファンファーレとともにピエロが現れ、言った。「アンサー・ゲームへようこそ！」

閉じ込められ、極限状況で試される。愛か打算か裏切りか、究極の心理ゲームが今、開幕！

おおかみさんいまんじ？

作＝中川ひろたか

ひつじたちが時間をたすねるたびに「〇じ」と教えてくれるおおかみが、夜中の12時になると追いかけてくる！紳士なおおかみが豹変していく様子がスリル満点。

幼稚園・保育園で人気の遊び「おおかみさん、いまんじ？」が絵本になりました！



子どものお話の会

8月のお話の会は、10日（土）午前11時から中央公民館で行います。

※参加無料・予約不要



これなんなん？
作＝くりはらタカシ

たぬきだけが暮らす島に、人間界からいろんなものが流れ着きます。Tシャツ、ホース、かさ……。たぬきたちは使い方がわからないので物知りますが、長老の記

憶もあやふや。知らないとは言えない長老は、ものをよく見て、長老なりに使い道を想像します。見方と少しずらしてみても新しい発見がいっぱいあることに気づける絵本です。



お金持ちになるゲーム
作＝昆布山葵

専門学生の卒業を控えた2月、先生の提案で特別授業『お金持ちになるゲーム』が始まった。分けられた10のチームに渡されたのは、紙と文房具。制限時間内に、紙でお金を作

り続け、最後に一番お金を持っていたチームが勝利となる。ゲーム終了後、他のチームを抑え、1位となったチームの代表者が取っていた驚きの行動とは……。本を読み終わったあと「その発想はなかった！」と驚かされ、先生の言葉に普段の自分の行動を考えさせられるようなお話でした。

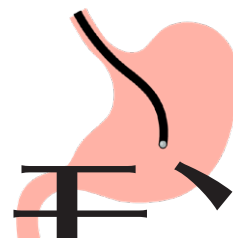
広がる本だな
本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だなでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介いたします。今月の紹介者は飯干愛理さん（司書）です。





Q&Aで解決!!

胃の検査のギモン



Q1 (35歳・男性のギモン)

胃の検査を初めて受けようと思っています。
「バリウム」と「胃カメラ」の
どちらが良いですか？

A1 どちらも良い検査ですが、検査で得られる情報量は胃カメラのほうが多いです。最近では、健診で胃カメラを行う機会も増えており、毎年バリウムの検査を受けていた方も2年に1回は胃カメラの検査を受けるよう推奨されています。

また、胃カメラの検査でピロリ菌の感染が疑われた場合は、保険診療でピロリ菌の検査を行うことができます。早いうちに一度胃カメラの検査を受けて、ピロリ菌の有無を判定することをおすすめします。

Q2 (61歳・女性のギモン)

胃カメラは、経鼻と経口のどちらが良いですか？

A2 経鼻内視鏡は径5mmと細く、のどを通る時に刺激の少ない角度で挿入されるため、検査に伴う苦痛が少ないことが最大の利点です。以前は画質の低さが問題となっていたのですが、最近の経鼻内視鏡は画質が向上し、健診で十分通用するレベルになっています。

一方、経口内視鏡はさらに画質が良く、機種によっては拡大観察など精密な観察を行うことができます。径10mmと経鼻内視鏡より太く、のどを通る時の角度から刺激が生じやすいため、検査がつらい方は鎮静剤を使用して、楽に検査を受けることをおすすめします。

どちらの検査が良いかは、検査の目的によって大きく異なります。例えば、今まで異常を指摘されていない方が健診目的に受ける検査であれば経鼻内

視鏡検査で十分と思われますし、早期胃がんを治療した事がある患者さんのフォローアップでは、経口内視鏡検査で精密な観察を行うべきでしょう。担当の医師とよく相談して、あなたに適した検査を選んでください。

Q3 (48歳・女性のギモン)

私は昨年、ピロリ菌を除菌しました。
もう潰瘍（かいよう）もがんもできないから
検査もしなくて良いですか？

A3 ピロリ菌の除菌に成功したことはとても良いことだと思います。ただ、除菌が成功すると潰瘍や胃がんの発生率は低下するのですが、残念ながらゼロになるわけではありません。また、除菌によりピロリ菌が陰性になった人でも、年率2%で再陽性化することがあると報告されています。

そのようなこともあり、日本ヘリコバクター学会では除菌成功後も毎年胃カメラでフォローアップを受けることをおすすめしています。

回答者



川口浩太郎・かわぐちこうたろう

平成11年、山口大学医学部卒業。

平成17年、同大学院を卒業し学位取得。

同大学病院、山口県内の関連病院、北九州市立八幡病院などを経て、平成31年からくらて病院に消化器内科医として勤務。

・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医

・日本消化器病学会専門医・指導医

・日本消化器内視鏡学会専門医（指導医）

・日本ヘリコバクター学会認定医